

MCA1120 モノラルミキシングアンプ



- ・Bluetooth®入力を含む
LINE x 2, MIC x 2 の豊富な入力
- ・上記入力を自在にミキシング可能
- ・120Wの高出力
- ・ハイ/ロー 両インピーダンス対応
(2Ω対応可能)
- ・音質に関する高い機能性
- ・マイク使用設定も充実
- ・詳細なカスタマイズを可能にする
232C設定に対応
- ・19インチラック対応 (1U ハーフサイズ)
- ・DIP Sw.の設定を簡単にする天板ラベル

PCA1120 モノラルパワーアンプ



- ・シンプルBGMシステム用途に
- ・MCA1120のスピーカー増設用に
- ・バッシブサブウーファー駆動用に
(サブウーファー専用モード搭載)
- ・120Wの高出力
- ・ハイ/ロー 両インピーダンス対応
(2Ω対応可能)
- ・音質に関する高い機能性
- ・詳細なカスタマイズを可能にする
232C設定に対応
- ・19インチラック対応 (1U ハーフサイズ)
- ・DIP Sw.の設定を簡単にする天板ラベル

■ファームウェア(F/W)更新履歴

バージョン記号 "B" 以降の機能が不要な
かたは、F/Wのアップデートも不要です。
事前に必要な機能の対応バージョンを
確認し、アップデートを行なってください。

	F/W バージョン	記号
すべて(量産当初)のファームウェアにて対応する機能	1000000000000000	A
Firmware_190118更新 以降のファームウェアにて対応する機能	1010001000000000	B
Firmware_191030更新 以降のファームウェアにて対応する機能	1030002000000000	C

各機能の対応F/W
は左記のA/B/Cで
表記しています。

■特殊機能 (F/W更新、サービス時、PCによる直接遠隔操作 など)で使用する機能

大項目	機能	機能詳細	MCA	PCA	対応 F/W	設定方法 (別表参照)
各種確認/ サービス用	ファームウェア アップデート	機能強化を実現するファームウェアを 弊社Webにて無償公開(USBメモリによる書換え)	レ	レ	A	本体 +USBメモリ
	232C設定用 PCアプリ	232C設定専用アプリを弊社Webにて無償公開(設定マニュアル完備) 設定値をPCに保存、PCから他のアンプへのコピーが可能	レ	レ	A	PCに ダウンロード
	ファームウェア バージョン確認	現在のファームウェアのバージョンを表示	レ	レ	A	232C RealTime
	累積稼働時間確認	不具合発生時などに使用	レ	レ	A	232C RealTime
	リセット	製品フリーズ時に使用 製品が再起動(各種設定はキープ)	レ	レ	A	232C RealTime
	工場出荷リセット	232C経由で設定したすべての設定を工場出荷状態にリセット (DIP Sw.の設定状態、ファームウェアのバージョンは維持)	レ	レ	A	本体特殊操作 (本紙巻末に記載)
リアル タイム制御	電源ON/OFF	電源の On/Off をPCから直接コントロール	レ	レ	A	232C RealTime
	音声ミュート ON/OFF	音声ミュート On/Off をPCから直接コントロール	レ	レ	A	232C RealTime
	マスターボリューム調整	マスターボリューム(全体音量レベル)を PCから直接コントロール(1dBステップ)	レ	レ	A	232C RealTime
	各入力別、個別音量調整	BT/LINE1、LINE 2、MIC 1、MIC 2 / LINE 3 の 音量レベルを独立にPCから直接コントロール(1dBステップ)	レ		A	232C RealTime

■システム設定機能 (スピーカーや使用環境に応じた基幹機能)

大項目	機能	機能詳細	MCA	PCA	対応 F/W	設定方法
システム 設定	スピーカー Hi/Lo インピーダンス切り替え	スピーカー出力のハイインピーダンス/ローインピーダンス切替 (ローインピーダンスは2Ω対応設定可能)	レ	レ	A	DIP Sw.
	フロントパネルロックモード (Keylock)	フロントパネルからの一部の操作を無効にして、 予期せぬ動作状態なることを防止 (232C設定では、すべての操作を無効にすることが可能)	レ	レ	A	DIP Sw. (または232C)
	オートスタンバイ	音楽 / 音声の入力がなく、かつ本機を2時間操作しなかった場合、 自動的にスタンバイ状態に移行	レ	レ	A	DIP Sw.
	オートパワーON	スタンバイ中に設定した入力信号を検出すると、 自動的に電源ON	レ	レ	A	DIP Sw.
	AC ON 連動	電源ブレーカー連動し、アンプを強制ON (店舗の開店時などに有効)	レ	レ	B	232C
	パワーON時 ボリューム固定	パワーON時の音量をノブ位置によらず固定することで いつもの音量でスタートが可能	レ	レ	B	232C
	外部コントロール設定	外部ボリューム(10kΩタイプ)や外部リモコン受光ユニット(IR)に 対応 (PCAではIRのID設定も可能)	レ	レ	A	DIP Sw.
	MIC 2 / LINE 3	MIC 2 / LINE 3 端子の用途設定 (MIC2設定時は、Micレベル / Lineレベル も選択可能)	レ		A	DIP Sw.
	INPUTボリューム (特性改善)	各入力のINPUTのボリュームカーブを改善し、 ミキシングバランス調整の操作性を改善	レ		B	不要

■ カスタマイズ応用機能（高音質化、ビビリ防止、ハウリング防止、誤操作回避などで使用）

大項目	機能	機能詳細	MCA	PCA	対応 F/W	設定方法
サウンド調整	BGMモード	設置環境に合わせたサ以下のウインドモードから選択可能 BGMモード(一般向け) / カフェモード / アパレルモード / Off	レ	レ	A	DIP Sw. (または232C)
	プリセットEQ	市場実績の多いスピーカーに合わせたEQを内蔵	レ	レ	A	DIP Sw.
	カスタムEQ	フィルタータイプ(5種類)、周波数(1Hz~20kHz、1Hzステップ)、レベル(±12dB、0.1dBステップ)で12バンドまで自由に設定可能	レ	レ	A	DIP Sw. +232C
	HPF (High Pass Filter)	スピーカー出力用のハイパスフィルターの設定 (天井埋め込みスピーカー使用時のビビリ防止などに有効) 40 Hz ~ 200 Hz または Off が選択可能	レ	レ	A	DIP Sw.
	サブウーファーモード	PCA1120をパッシブサブウーファー駆動に使用する場合、ローパスフィルターによる高域の帯域制限が可能		レ	A	DIP Sw.
	サブウーファー用 LPF(Low Pass Filter)	サブウーファー用の高域制限用ローパスフィルターの設定 (メインスピーカーとの音の繋がりを改善) 40 Hz ~ 200 Hz または Off が選択可能		レ	A	DIP Sw.
	サブウーファー用 HPF(High Pass Filter)	サブウーファー用の低域制限用ハイパスフィルターの設定 (超低域のビビリ防止に有効) 10 Hz ~ 30Hz または Off が選択可能		レ	A	232C
	FIR フィルタ化 (HPF / LPF に有効)	フィルタ特性をシャープにし、ハインピーダンス接続時の低域再生能力やサブウーファーの高域遮断能力を強化 Off (初期値) / On	レ	レ	B	232C
	トーンコントロール	BASS (低域) と TREBLE (高域) の音量をそれぞれ±10dB(1dBステップ) で調整	レ	レ	A	Bass/Tre.ツマミ (または232C)
	ミュージック オプティマイザー	MP3などの圧縮音声を高音質に補正		レ	A	DIP Sw.
	Auto Leveler	音量に差のある入力信号でも、自動でほぼ一定の音量に調節 (すべての入力が対象)	レ		A	DIP Sw.
	PRE OUT レベル設定	PRE OUTの出力レベルを、可変(マスターボリューム連動) / 固定(マスターボリューム非連動) で切替可能 (固定の場合、RS232経由で固定する音量の詳細設定も可能)	レ		B	DIP Sw. (+232C)
	スピーカーディレイ機能	スピーカー出力に対し、複数台接続時の音のタイミング調整や映像とのリップシンク補正が可能 (PRE OUTには無効) 0(初期値)~500ms 1msステップ	レ	レ	B	232C
	PRE OUT ディレイ機能	PRE OUT出力に対し、音のタイミング調整が可能 (スピーカー出力には無効) 0(初期値)~500ms 1msステップ	レ		B	232C
Bluetooth	Bluetooth 無効設定	Bluetooth音声が無効化 (意図しないペアリングによるいたずら防止)	レ		B	232C
	Bluetooth マスターモード	特定の端末だけが接続できるモード (意図しない端末との接続を防止)	レ		C	232C
	Bluetooth ホテルモード	本機の過去の接続履歴を消去するモード (別エリアに設置された本機との誤接続を防止)	レ		C	232C
	Bluetooth フレンドリーネーム変更	接続(ペアリング)時の本機の表示名称を変更可能 英数字16文字以内 (本機を複数台設置する際の区別を容易化)	レ		C	232C
マイク関連	マイクダッカー	マイクから音声入力を検出し、BGMの音量を自動で減衰 (232Cから設定すると、mute / -40dB / -24dB (初期値) で選択可)	レ		A	DIP Sw. (+232C)
	マイク優先Sw対応	トークスイッチ連動リモート機能付きのマイクに対応 (専用の接続端子に、マイクのスイッチ回線を接続)	レ		A	専用端子に接続
	フィードバック サプレッサー	ハウリング防止のための基本機能 MIC入力に対し、自動で適用	レ		A	不要
	ハウリング検出MUTE	マイク入力の歪を検出し、ハウリング時の大音量を防止 On / Off (初期値) の設定が可能	レ		A	232C
	ハウリング低減用 マニュアルEQ	マイク特性や使用位置に応じて、ハウリング低減用マニュアルEQをMIC1/MIC2で独立に 設定可能。 10BAND、3dBステップで設定可能	レ		B	232C
	マイク入力 ノイズゲート	マイクレベルが設定値以下のときに、自動でマイク入力をミュート (マイクダッカーの誤動作、予期せぬハウリングなどを防止) 高 (うるさい環境) / 中 (初期値) / 低 (静かな環境) / Off	レ		A	232C
	マイク用HPF	息によるマイクのノイズ(ブローイング)低減のため、低周波をカット 100Hz (初期値) / 200Hz / 250Hz	レ		A	232C
	マイク近接補正	マイクと口元が近接したときに、自動で低域を補正 MIC1, MIC2 独立で On / Off (初期値) の設定が可能	レ		A	232C
	MIC用オートレベラー	声量やマイク感度の差による音量差を自動で軽減	レ		B	232C

【参考資料】MCA1120 PCA1120 各機能の具体的な使用/操作方法について

弊社Webには、最新版の取扱説明書、ファームウェアやその使用法マニュアルなど多数の情報を開示しています。

<https://www.onkyo-mc.com/mca1120>

<https://www.onkyo-mc.com/pca1120>

※MCA1120 Web、2020年4月現在の状態

本一覧で紹介した機能は、上記のオレンジ枠で囲った資料、およびツールで実現可能です。

製品の天板には以下のようなDIPスイッチ設定ガイドも貼付されています。 設定の参考にしてください。

SET UP用のDIP Sw.は、DIP Sw.を切り替えた後にACを一旦抜き、電源LEDの消灯確認後に再度ACを挿すことで設定が反映されます。

■ 工場出荷リセット (232C経由で設定したすべての設定を工場出荷状態にリセット)

リセットの手順は、MCA1120 / PCA1120 共通です。

工場出荷リセット：232C経由で設定したすべての設定を工場出荷時点の設定に戻します。(BluetoothネームやカスタムEQなどすべて工場出荷時点に戻りますのでご注意ください)

- ① アンプの電源をONにする
- ② BASS=最大、TREBLE=最大、MASTER VOL=最小に設定する
- ③ STANDBYボタンを5秒以上長押しし、インジケータが赤点減となったらボタンを離す
- ④ BASS、TREBLE、MASTER VOL を元の位置に戻す

